

# 四半期報告書

(第32期第1四半期)

自 平成26年1月1日

至 平成26年3月31日

コスモ・バイオ株式会社

東京都江東区東陽二丁目2番20号

# 目 次

	頁
表 紙	
第一部 企業情報	
第1 企業の概況	
1 主要な経営指標等の推移	1
2 事業の内容	1
第2 事業の状況	
1 事業等のリスク	2
2 経営上の重要な契約等	2
3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析	2
第3 提出会社の状況	
1 株式等の状況	
(1) 株式の総数等	3
(2) 新株予約権等の状況	3
(3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等	3
(4) ライツプランの内容	3
(5) 発行済株式総数、資本金等の推移	3
(6) 大株主の状況	3
(7) 議決権の状況	4
2 役員の状況	4
第4 経理の状況	5
1 四半期連結財務諸表	
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
2 その他	11
第二部 提出会社の保証会社等の情報	12

[四半期レビュー報告書]

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年5月13日
【四半期会計期間】	第32期第1四半期（自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日）
【会社名】	コスモ・バイオ株式会社
【英訳名】	COSMO BIO COMPANY, LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 笠松 敏明
【本店の所在の場所】	東京都江東区東陽二丁目2番20号
【電話番号】	03-5632-9600
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 世良 伸也
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区東陽二丁目2番20号
【電話番号】	03-5632-9600
【事務連絡者氏名】	取締役財務部長 世良 伸也
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第31期 第1四半期連結 累計期間	第32期 第1四半期連結 累計期間	第31期
会計期間	自平成25年 1月1日 至平成25年 3月31日	自平成26年 1月1日 至平成26年 3月31日	自平成25年 1月1日 至平成25年 12月31日
売上高 (百万円)	2,094	2,193	7,050
経常利益 (百万円)	285	253	444
四半期(当期)純利益 (百万円)	168	152	313
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	207	△256	1,200
純資産額 (百万円)	5,851	6,467	6,797
総資産額 (百万円)	7,029	7,891	8,277
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	28.39	25.80	52.82
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	76.3	75.8	76.2

- (注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクに重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるライフサイエンス研究関連の試薬・機器市場は、大学、公的研究機関及び一般企業の予算消化が進展する期間でもあり、活発な取引が期待されたものの、近年の慎重な予算執行の傾向が続いております。

そのような状況下で、当社グループは再生医療研究で使用する細胞関連試薬・器材を含め、各研究分野に特色ある試薬や機器の商品の販売に努めた結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,193百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

一方、利益面では、為替レートが当第1四半期連結累計期間平均103円/ドル（前年同期90円/ドル）で推移したこと等から、売上総利益は758百万円（前年同期比12.4%減）、売上総利益率は34.6%となりました。

販売費及び一般管理費は節減に努め、営業利益は199百万円（前年同期比27.4%減）、経常利益は253百万円（前年同期比11.3%減）、四半期純利益は152百万円（前年同期比9.1%減）となりました。

なお、売上高を品目別にみますと、研究用試薬1,524百万円（前年同期比6.5%増）、機器633百万円（前年同期比2.5%増）、臨床検査薬35百万円（前年同期比22.5%減）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

##### (資産)

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、売上債権（受取手形及び売掛金）が292百万円増加した一方、現金及び預金が315百万円減少したこと等により、102百万円減少いたしました。有形固定資産及び無形固定資産につきましては、重要な変動はありませんでした。投資その他の資産につきましては、その他有価証券について時価による評価を行ったこと等により、294百万円減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は7,891百万円（前連結会計年度末比386百万円減）となりました。

##### (負債)

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ、未払法人税等が100百万円増加したこと等により、162百万円増加いたしました。固定負債につきましては、繰延税金負債が214百万円減少したこと等により、218百万円減少いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は1,423百万円（前連結会計年度末比55百万円減）となりました。

##### (純資産)

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金が375百万円減少したこと等により、6,467百万円（前連結会計年度末比330百万円減）となりました。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### ①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,361,600
計	18,361,600

###### ②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年3月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年5月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,048,000	6,048,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,048,000	6,048,000	—	—

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増減 額(百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成26年1月1日～ 平成26年3月31日	—	6,048,000	—	918	—	1,221

##### (6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

### ① 【発行済株式】

平成26年3月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 120,000	—	(注)
完全議決権株式（その他）	普通株式 5,926,700	59,267	(注)
単元未満株式	普通株式 1,300	—	—
発行済株式総数	6,048,000	—	—
総株主の議決権	—	59,267	—

(注) 完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。

### ② 【自己株式等】

平成26年3月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合（%）
コスモ・バイオ株式会社	東京都江東区東陽 二丁目2番20号	120,000	—	120,000	1.98
計	—	120,000	—	120,000	1.98

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,234	918
受取手形及び売掛金	2,255	2,548
有価証券	802	802
商品及び製品	960	920
仕掛品	0	0
原材料及び貯蔵品	25	23
その他	255	217
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	5,527	5,424
固定資産		
有形固定資産	185	207
無形固定資産		
のれん	4	3
その他	103	93
無形固定資産合計	107	97
投資その他の資産		
投資有価証券	2,211	1,917
関係会社株式	11	11
その他	233	233
投資その他の資産合計	2,456	2,161
固定資産合計	2,750	2,466
資産合計	8,277	7,891

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	566	608
短期借入金	20	20
未払法人税等	0	100
その他	231	253
流動負債合計	818	981
固定負債		
退職給付引当金	222	232
負ののれん	3	3
その他	434	206
固定負債合計	660	441
負債合計	1,479	1,423
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	918	918
資本剰余金	1,221	1,221
利益剰余金	3,314	3,395
自己株式	△67	△67
株主資本合計	5,386	5,468
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	836	460
繰延ヘッジ損益	87	50
その他の包括利益累計額合計	924	511
少数株主持分	486	487
純資産合計	6,797	6,467
負債純資産合計	8,277	7,891

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
売上高	2,094	2,193
売上原価	1,229	1,434
売上総利益	865	758
販売費及び一般管理費	590	558
営業利益	275	199
営業外収益		
受取利息	3	2
その他	8	50
営業外収益合計	11	53
営業外費用		
支払利息	0	0
その他	1	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	285	253
特別利益		
保険解約返戻金	5	0
特別利益合計	5	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	290	253
法人税等	117	97
少数株主損益調整前四半期純利益	173	155
少数株主利益	5	2
四半期純利益	168	152

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	173	155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	△375
繰延ヘッジ損益	29	△36
その他の包括利益合計	34	△412
四半期包括利益	207	△256
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	202	△259
少数株主に係る四半期包括利益	5	2

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年3月31日)
減価償却費	22百万円	19百万円
のれんの償却額	1	1
負ののれんの償却額	△0	△0

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年3月26日 定時株主総会	普通株式	71	1,200	平成24年12月31日	平成25年3月27日	利益剰余金

(注) 当社は、平成24年11月13日開催の当社取締役会の決議に基づき、平成25年1月1日付で1株につき100株の株式分割を行っております。当該株式分割を考慮した場合、1株当たり配当額は12円となります。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年3月25日 定時株主総会	普通株式	71	12	平成25年12月31日	平成26年3月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)

当社グループは、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年3月31日)
1株当たり四半期純利益金額	28円39銭	25円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	168	152
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	168	152
普通株式の期中平均株式数(株)	5,928,000	5,928,000

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年5月13日

コスモ・バイオ株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 安齋 裕二 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 米山 昌良 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているコスモ・バイオ株式会社の平成26年1月1日から平成26年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成26年1月1日から平成26年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、コスモ・バイオ株式会社及び連結子会社の平成26年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。